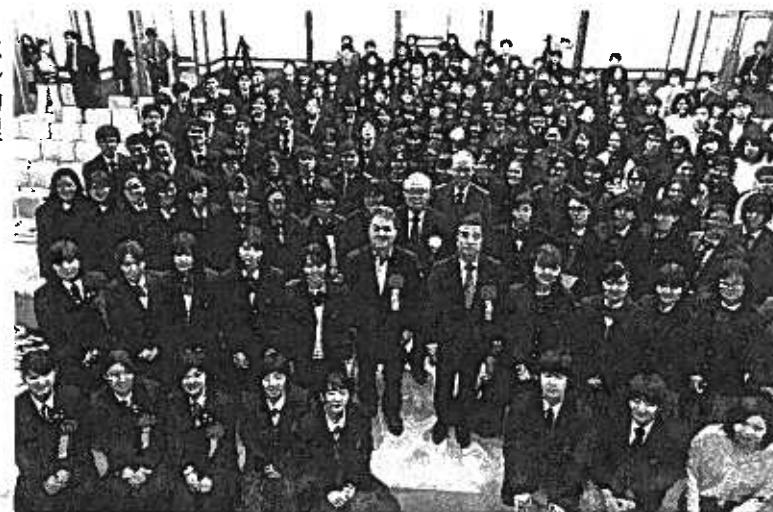


科学と社会の関係語る ノーベル賞梶田さんら講演



2015年にノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章(東京

大学宇宙線研究所長)らが8日、宜野湾市の沖縄コンベン

ションセンターで講演した。

グローバル・ピース・ダイアログ沖縄2019(主催・大学コンソーシアム沖縄)と題したイベントで、県内高校生158人、大学生27人が聞き入った。

梶田さんは、気候変動や地球温暖化などを念頭に、科学技術と社会の関係を語った。今後もさらに関係が深まつていくとして「一人一人が科学者であれ違う立場であれ、正面から向き合って正しい方向に行つてほしい」と呼び掛けた。研究者を目指す女子の友人が周囲から反対されたとい

う生徒の質問に、「女性であつても男性であつても研究を志す人は研究すべきだ」との力強いメッセージを発した。

貧困者への小規模無担保融資で06年にノーベル平和賞を受賞したグラミン銀行の日本版であるグラミン日本の菅正広理事長は「貧困は自己責任ではなく、社会の問題として取り組むべきだ」と述べた。沖縄尚学高校1年の國仲元之輔さん(16)は「若い世代の自分たちがどんなことをすれば地球全体に貢献できるかを学べた」と語った。

沖縄タイムス
'19年3月17日付
朝刊 14面